

保護者の皆様へ

かりゆし諸見保育園では、保育所保育指針に基づいて自己チェックリストを使用し、自己評価を行い質の高い保育が提供出来るよう努めています。

平成28年度後期（10月～3月）の職員一人一人の自己評価を総合して、園の評価として公表いたします。

（自己評価の総合評価）

章	十分理解 している	理解 している	努力が 必要
第1章「保育所の役割」「保育の説明責任」	2%	73%	25%
第2章「子どもの発達」	22%	66%	12%
第3章「保育内容」	20%	60%	20%
第4章「保育の計画及び評価」	11%	54%	35%
第5章「健康及び安全」	14%	65%	21%
第6章「保護者に対する支援」	6%	53%	41%
第7章「職員の資質向上」	20%	65%	15%

《好評》

第2章「子どもの発達」第7章「職員の資質の向上」については、前期より引き続き理解も深めることが出来たという評価だった。又、第3章「保育内容」第5章「健康及び安全」も理解し意識が高くなっていると感じた。第6章「保護者に対する援助」については努力を必要とすることが課題である。子ども一人ひとりの保育園での様子をしっかりと丁寧に伝え、保護者との信頼関係を築き、適切なアドバイスや専門機関との連携をとり、子育て支援ができるよう知識を深めていきたいと思う。一年を振り返り、子ども達の成長を感じ保育士としてのやりがいを感じたとの声もあり、職員間の連携を今後も大切にし、職員一人ひとりの自己研鑽に努めていきたいと思う。